

米・メキシコに進出

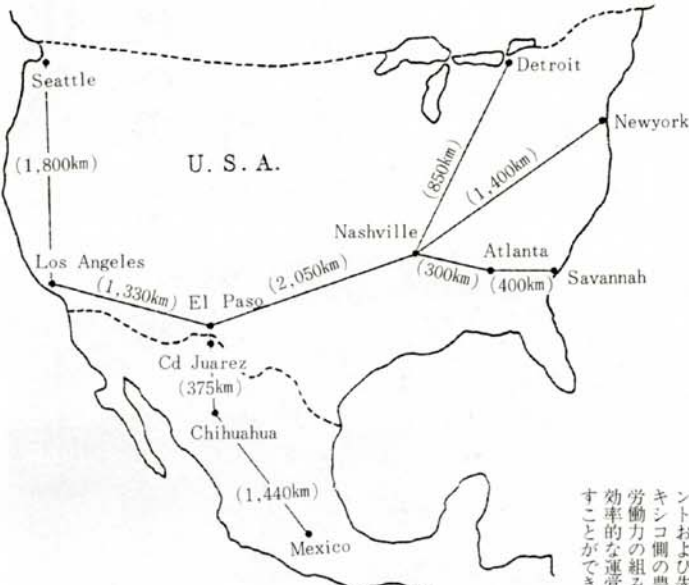
製造・販売の国際分業方式で事業展開

WHの新拠点 明六月に操業

現有の生産能力を超えるワイヤーハーネス受注に対応するため、アメリカとメキシコに、それぞれ新会社を設立した。アメリカ矢崎部品が販売と資材調達を受け、メキシコ自動車部品が製造部門を担当する、という製造・販売の国際分業方式で、事業展開が行われる。来年の6月操業をめざして、工場建設が着々と進められているが、同時にメキシコで幹部候補生も既に採用され、現在、日本矢崎で生産システム等の習得のため、猛勉強中である。新会社への設備投資は約二〇億円で、今後の受注増見通しを基に、段階的増産体制が計画されている。

米国市場での需要増に対応

北米における自動車用組電線ワイヤーハーネスの生産事業の進出を決定し、アメリカ矢崎部品株式会社（アメリカ合衆国テキサス州エルパソ市）およびメキシコ自動車部品可変資本株式会社（メキシコ合衆国チ



新会社2社は、リオグランデ川をはさんで、アメリカ側のテキサス州エルパソ市にアメリカ矢崎部品株を設立し、メキシコ側のチワワ州シュエダードファレス市にメキシコ自動車部品株を設立。それぞれ、リオグランデ川から5キロメートルの地点に位置している。

この方式は①米国側での最先端オフィスマネージメントおよび先進技術と、メキシコ側の豊富で質のよい労働力の組み合わせによる効率的な運営の妙を引き出すことができる②保税作業

の国際分業方式を採用し、ワワ州シュエダードファレス市の二つの会社が、それぞれ本年6月10日、7月2日に設立され、現在、来年六月度からの本格操業をめざして、建設工事を急いでいる。新会社2社は、製造・販売の国際分業方式を採用しており、アメリカ矢崎部品が管理部門および米国市場の事業（販売、資材調達ほか）を担当し、メキシコ自動車部品は製造部門を担当する。

米国の今後の受注増見通しを基に、段階的増産体制が計画されている。米国における主な得意先は、フォード社、クライスラー社（本年度から納入契約締結）、その取引実績は年々増加の一途をたどっており、矢崎としても新たな生産拠点を確立を迫られていた。さらに、最近、日系カーメーカーの対米進出が活発化しつつあり、日産自動車（テネシー工場）が建設途上であり、トヨタ自動車（GM社との共同生産計画が具体化しつつあるなど、あなただけの動きを示している。このような環境に対応して、初の北米生産拠点の設置に踏みきったものである。

矢崎の哲学に感銘

メキシコ研修生が猛勉強

メキシコ自動車部品株の工場建設が急ピッチに進んでいるが、これと併行して現地幹部の研修生五人（男性四人、女性一人）が日本で勉強を続けている。9月6日に来日した研修生は、エクトル・カバジェロ、セルヒオ・アビエイラ、エクトル・アベジエラ、レジェス・カロの四氏と、紅一点のカルメン・バルガス嬢で、九月末までの期間は、沼津センターに宿泊しながら、矢崎グループ一員として矢崎の組織機能の把握と、矢崎思想の理

現地カーメーカー、日系カーメーカーからの今後の受注増見通しを基に、段階的増産体制を計画しており、その場合、さらにメキシコ内陸部にも新拠点が必要となってくるだろう、との予想もされている。なお、アメリカ矢崎部品の売上高は、一九八三年が月間一〇〇万ドル、一九八四年に月間一五〇万ドルが見込まれている。また、電線、ターミナルおよびコネクタ・ハウジングなど部品種類の製造も、一九八四年度から計画されている。

社長の矢崎信一は、フォード社、クライスラー社（本年度から納入契約締結）、その取引実績は年々増加の一途をたどっており、矢崎としても新たな生産拠点を確立を迫られていた。さらに、最近、日系カーメーカーの対米進出が活発化しつつあり、日産自動車（テネシー工場）が建設途上であり、トヨタ自動車（GM社との共同生産計画が具体化しつつあるなど、あなただけの動きを示している。このような環境に対応して、初の北米生産拠点の設置に踏みきったものである。

社長の矢崎信一は、フォード社、クライスラー社（本年度から納入契約締結）、その取引実績は年々増加の一途をたどっており、矢崎としても新たな生産拠点を確立を迫られていた。さらに、最近、日系カーメーカーの対米進出が活発化しつつあり、日産自動車（テネシー工場）が建設途上であり、トヨタ自動車（GM社との共同生産計画が具体化しつつあるなど、あなただけの動きを示している。このような環境に対応して、初の北米生産拠点の設置に踏みきったものである。



御殿場製作所で、設備の取扱方法とメンテナンスを勉強する、右からカバジェロ、アベジエイラ、カロ、アビエイラの各氏。

に帰国することになっていく。各担当別教育に入り、御殿場製作所で熱心に勉強する男性群を訪ね、それぞれ矢崎の印象を含めた感想を

①日本人を知ることによって考え方を勉強し、メキシコと日本の考え方をミックスしたい。
②矢崎の哲学が、人に対し

て大きなウェイトを置いているということが、何よりも強く印象づけられた。例えば常務さんも一緒のユニフォームを着て、非常に親切にしてくれるし、自由に発言を許して、従業員の見をよく聞いてくれることだ。
③メキシコ自動車部品株は一〇〇〇万ドル、成功している。中には信頼を持ちきっています。また、日本矢崎の製品にも負けないものを作ろう、という気持ちでいっぱいです。
④技術が非常に進歩していることを、特に感じています。そして、いろいろな矢崎の工場を訪ねましたが、どこでも親切に話を聞いて、感謝しています。
……等、元気を答えが返ってきた。
研修生たちは、この教育実習期間中、作業終了後に検査基準書や作業指示表のスベイン語の翻訳作業も行ったなど、来年6月からの本格操業を目指して、頑張っている。